

8-4-6 業務研究発表会WG

1. WG 設置主旨

本WGは、建設コンサルタントの継続教育の一環として平成13年度より開催される「建設コンサルタント業務研究発表会」を円滑に開催するために、令和元年度より設置された。業務研究発表会は、「業務における優れた成果や自主研究開発成果の発表を通じて、互いの技術の研鑽を図ること」を目的としており、それを具現化するための検討・準備を実施するWGであり、今回で24回目の開催となった。

2. 主な活動の記録

毎年9月の業務研究発表会開催に向けて、インフラストラクチャー研究会と共同して、主に以下の活動を実施した。

(1) ワーキングの開催（計5回の開催）

メール審議やWeb/会場開催で協議を行った。

主な会議の開催概要を以下に記す。

a) 第1回会議：一次審査会（6月21日）

論文の応募総数は118編であった。一次審査を行って、32編の論文を選定した。

b) 第2回会議：準備会（8月22日）

発表会当日のプログラム、進行シナリオの確認、WGメンバーの役割分担等を協議した。

c) 第3回会議：反省会（10月21日）

開催結果として、アンケートを含めた各種データを集計・分析・考察した概要を共有し、次年度に向けた課題を整理して、協議した。

d) 第4回会議：課題対応協議（11月27日）

今年度の業務研究発表会の課題に対する改善策を協議した。

e) 第5回会議：次年度開催協議（2月13日）

次年度の開催にあたり、開催方針、スケジュール等について協議した。

(2) 業務研究発表会の開催

インフラストラクチャー研究会並びに（一社）建設コンサルタンツ協会の共同主催による「第24回建設コンサルタント業務研究発表会」の二

次審査会を令和6年9月10日（火）、赤坂インターシティコンファレンスにて開催した。

審査員と発表者のコミュニケーション確保の観点から、開催会場にて審査員、発表者の対面参加による発表、授賞式及び懇親会を行った。また、これまでのオンライン配信による聴講者増大効果の観点から、発表及び授賞式についてオンラインライブにて配信した。

厳正なる審査の結果、「河川・水防災」、「交通・道路・橋梁」、「都市・マネジメント」、「新技術・新領域」の4分野32編より、最優秀賞1名、優秀賞3名、特別賞4名が選考され、同日開催会場にて表彰式を開催した。

オンラインライブ配信であったこともあり、聴講者の延べ人数は1,897名となり、前年度を上回る発表会となった。また、昨年同様、協会機関紙「Consultant」に開催結果を掲載した。

3. 次年度の活動について

25回目となる次年度の業務研究発表会は、今年度の開催方法の課題や経験を活かして開催する。審査員と発表者が交流（意見交換）する場を設けることは重要であるとの見解から、今年度と同様、開催会場にて審査員、発表者の対面参加とし、懇親会を開催する。また、発表会・質疑応答の模様をオンライン配信する方針にて決定した。

コンサルティング・エンジニアの技術研鑽という目的をより充実させ、昨今の働き方改革にも呼応した、誰もが参加できる機会としての業務研究発表会を目標とする。次年度の主な活動計画は、以下の通りである。

- ・発表論文 一次審査会（6月19日）
- ・発表会開催に向けた準備会（8月下旬）
- ・令和7年度 業務研究発表会（9月18日）
9:30 開始 ～ 18:30 終了（懇親会含む）
- ・業務研究発表会の反省会（10月中旬）
- ・発表会の課題に対する対応協議（11月下旬）
- ・令和8年度発表会開催方針協議（2月中旬）

（業務研究発表会WG WG長 平山 博）